

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

# 「措置入院者の退院後支援について」

高知市保健所 健康増進課

# 高知市における措置(通報・入院)の状況

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
通報等件数	42	42	45	49
措置入院 (帰住地が市外の者も含む)	25	31	35	29

# 退院後支援対象者(高知市に帰住する者)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
高知市が措置した件数	25	31	35	29
高知県や他の福祉保健所が 措置した件数	2	6	4	1
県外の福祉保健所が措置した件数	0	1	0	0
(計)退院後支援対象者	27	30	32	※29

# 退院後支援実施者数

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
支援対象者	27	30	32	29
支援実施者 (新規者)	14	16	22	15
支援実施者 (R4年度からの 継続者を含む)	28	29	47	38

# 退院後支援実施者(38人)の状況

		退院後支援実施者
計画作成中 (入院)	措置入院	0
	医療保護入院	2
	任意入院	3
計画交付 (退院)	外来通院	27
(再入院)		3
(その他)	死亡・治療中断等	3

退院後支援終了者:30人

(R7年3月末時点の状況)

# 支援中の再措置入院

	R4年度	R5年度	R6年度
要措置件数	31	35	29
退院後支援中の 再措置入院者数	1	3	1

# 令和6年度措置入院者の 退院後支援の在り方検討会

- ① 退院後支援のフロー図の見直しや同意率を  
あげるためにできること
- ② 退院後支援の評価の仕方について

# 措置入院者退院後支援のまとめ ～複数回措置入院した者について～

## ■R1～R6年度に措置入院した者

延人数	実人数
188人	144人

## ■R1～R6年度に複数回措置入院した者

複数回措置入院した者 (実)	措置入院平均回数	退院後支援導入後の 措置入院平均回数
15人	3.2回	1.3回



## ■R1～R6年度に複数回措置入院した者(病名)

統合失調症	知的障害	双極性感情障害	広汎性発達障害	パーソナリティ障害
7人	3人	2人	2人	1人

## ■(年代)

20代	30代	40代	50代	60代	70代
4人	2人	3人	1人	3人	2人

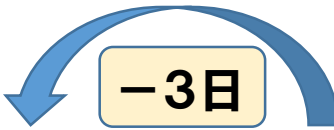
## ■(生活保護の有無)

あり	なし
8人	7人

## ■(同居・独居)

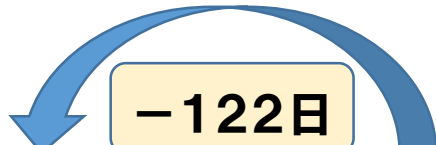
同居	独居
3人	12人

## ■措置入院1回目



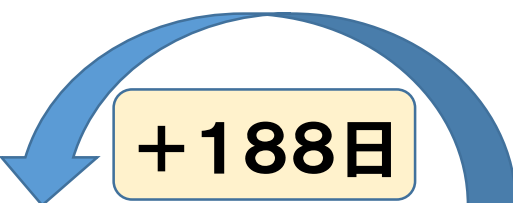
	退院後支援あり	退院後支援なし
平均入院日数	107日	110日

## ■措置入院2回目以降



	退院後支援あり	退院後支援なし
平均入院日数	140日	262日

## ■措置入院を繰り返すまでの日数



	退院後支援あり	退院後支援なし
措置入院を繰り返すまでの平均日数(在宅日数)	613日	425日

## ■在宅日数の比較(地域移行支援事業の有無)

### ケース①

	地域移行支援なし	地域移行支援あり
措置入院を繰り返すまでの 日数(在宅日数)	258日	758日

**+500日**

### ケース②

	地域移行支援なし	地域移行支援あり
措置入院を繰り返すまでの 日数(在宅日数)	85日	1045日

**+960日**

### 全体

	地域移行支援・ 地域定着支援なし	地域移行支援・ 地域定着支援あり
措置入院を繰り返すまでの 平均日数(在宅日数)	580日	779日

**+199日**

- 退院後支援を導入すると、その後に措置入院を繰り返す回数は減少する。
- 初回の措置入院時に退院後支援を導入すると、入院期間が退院後支援をしない者に比べて短くなり、2回目以降はその傾向がさらに顕著にみられる。
- 退院後支援を導入すると、その後に措置入院を繰り返すまでの期間（在宅生活が可能な期間）が、退院後支援をしない者に比べて長くなっている。
- 退院後支援計画の中に地域移行支援・地域定着支援を導入すると、その後に措置入院を繰り返すまでの期間（在宅生活が可能な期間）が、地域移行支援・地域定着支援を導入しない者に比べて長くなっている。

# 措置入院者の退院後支援の在り方検討会

- 目的 : 措置入院者の支援体制に関する協議の場を設け, 課題や支援体制について検討する
- 検討会委員 : 高知市内の応急指定病院および特例措置をとることができる応急指定病院, 高知県, 高知市
- 開催頻度 : 年1回
- 開催時期 : 令和8年2月頃予定